

きょうからのCiNii

国立情報学研究所

大向 一輝

Twitter: @i2k

#niiLF2011 #LF2011

はじめに

- 2011年3月11日の東日本大震災に端を発し、国立情報学研究所の各種サービスが長時間・長期間に渡って停止しましたことを心よりお詫び申し上げます。

The screenshot shows a Japanese announcement from NII regarding the restoration of services after the March 11 earthquake. The text is as follows:

4月以降のサービスについて

3月11日の震災発生から約1ヶ月が経過し、被災による被害は徐々に軽減されてきています。国立情報学研究所の各種サービスも、徐々に正常化してきています。4月以降のサービスについて、お知らせいたします。

今後、サービスが徐々に正常化するにつれて、お知らせいたします。

なお、被災による被害の影響を受け、一部のサービスがまだ正常化していません。今後のサービス再開の状況は、随時お知らせいたします。

Our Services from April

We also expect the restoration of our services after the earthquake. We will inform you of the status of our services from April onwards.

Our services will be gradually restored. We will inform you of the status of our services from April onwards.

We will also inform you of the status of our services from April onwards.

There are some services that are still not restored. We will inform you of the status of our services from April onwards.

CiNiiサービス再開 (2011.04.02-04)

国立情報学研究所

〒100-8302 東京都千代田区千代田 1-8-1 国立情報学研究所

自己紹介

- 国立情報学研究所
 - コンテンツ科学研究系（教員）
 - セマンティックウェブ・ソーシャルメディア
 - Linked Data
 - 学術コンテンツサービス研究開発センター
 - 学術基盤推進部学術コンテンツ課システム室（職員）
 - 学術情報サービスの設計・開発
 - CiNii・NACSIS-CAT
- 株式会社グルコース
 - RSSリーダー・Twitterクライアント
 - ユーザーエクスペリエンスの探求

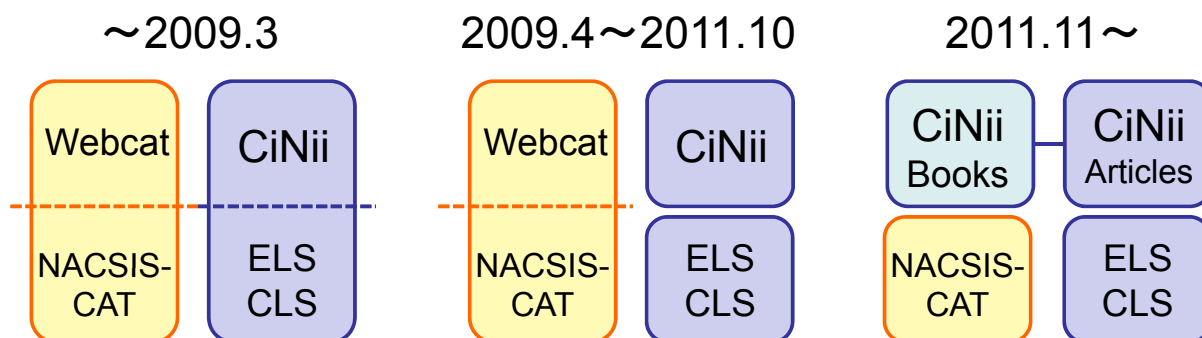
きょうからのCiNii

- 2011年11月9日リリース！
- サービス再編
 - CiNii Articles – 日本の論文をさがす
 - CiNii Books – 大学図書館の本をさがす
- 新機能
 - CiNii Articles 全文検索
- ユーザーインターフェイス改善



サービス再編の方向性

NII



- データ構築とサービスの分離
 - モジュール化による開発効率の向上・通年開発体制
- 統一されたユーザーインターフェイスの提供
 - 多様なユーザーへの対応

National Institute of Informatics, Tokyo, Japan

サービス再編

NII

- CiNii Articles – 日本の論文をさがす
 - <http://ci.nii.ac.jp/>
 - きのうまでのCiNii（論文情報ナビゲータ）
 - 全文検索 **[New!]**
- CiNii Books – 大学図書館の本をさがす **[New!]**
 - <http://ci.nii.ac.jp/books/>
 - 全国の大学図書館蔵書の検索サービス
 - Webcat後継
 - Webcatは**2013年3月**に終了予定

National Institute of Informatics, Tokyo, Japan



- CiNii Articlesで提供する400万論文の全文を検索対象に
 - NII-ELS（電子図書館サービス）由来の論文
 - OCRによるテキスト化→検索エンジンに投入
 - 3番目のタブから検索・ウェブAPIの提供
- 検索空間の拡大
 - 書誌に含まれない情報にヒット
 - 本文・キャプション・参考文献・謝辞...

- 検索結果の品質
 - テキスト化の品質
 - スキャン→OCRの限界・手書き論文の存在
 - スニペットが出せない
 - 検索の品質
 - 何によってランキングすべきか？
- 処理速度
 - 小規模なシステム
 - ウェブAPIを通じた連続的・大量アクセスは非推奨
- 書誌検索との統合
 - ランキングアルゴリズムの検討

NACSIS Webcat

国立国会図書館データベース連携検索サービス

Webcatは、国立国会図書館の蔵書目録データベースと、大学図書館の蔵書目録データベースとを連携して検索・表示するサービスです。Webcatは、国立国会図書館の蔵書目録データベースと、大学図書館の蔵書目録データベースとを連携して検索・表示するサービスです。

検索条件入力欄

検索キーワード	<input type="text"/>
検索範囲	<input type="text"/>
検索条件	<input type="text"/>
検索範囲	<input type="text"/>
検索条件	<input type="text"/>
検索範囲	<input type="text"/>
検索条件	<input type="text"/>

検索結果表示欄

検索結果一覧

検索結果	検索結果	検索結果
検索結果	検索結果	検索結果
検索結果	検索結果	検索結果

CiNii Books

CiNii Books

検索条件入力欄

検索キーワード	<input type="text"/>
検索範囲	<input type="text"/>
検索条件	<input type="text"/>

検索結果表示欄

検索結果	検索結果	検索結果
検索結果	検索結果	検索結果
検索結果	検索結果	検索結果

- NACSIS-CAT書誌所蔵データの検索・表示サービス
 - 1100万書誌・1億1千万所蔵
- ウェブAPIの提供
 - 次世代目録ワーキンググループの報告より

CiNii Booksの設計方針

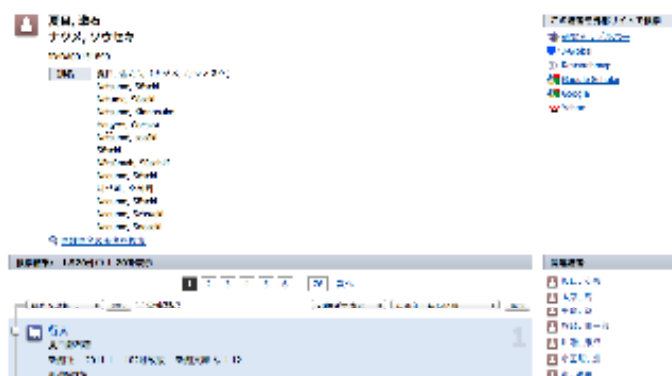
- NACSIS-CATシステムとの分離
 - モジュール化・軽量化
 - クラウド対応可→業務継続計画への対応
- CiNii Articlesと同等のユーザーインターフェイス
 - 一般のユーザーのためのデザイン
- CATデータの徹底活用
 - 業務系システムでのみ利用可能だった検索項目を導入
 - 著者名典拠
- 図書館との密連携
 - 図書館システム連携
 - ILLに有用な情報の提供



- 基本的な書誌項目（タイトル・著者名・各種ID）
- 件名・分類・注記・資料種別
- 図書館ID（FA番号）・機関ID（KID）・地域
 - 任意の図書館の所蔵で絞り込み可能



- 所蔵一覧の高機能化
 - 都道府県・地域・ILL種別での絞り込み
 - 各館OPACへの直接リンク
 - 要登録
- CiNii Articles（電子リソース）へのリンク



- 著者URIとしての公開
 - 生年・没年等は削除
- 書誌検索との統合

- RDFによる各種情報の記述
 - 書誌・著者名典拠・参加組織
- OpenSearchでの検索機能の提供
 - 書誌検索・著者検索・参加組織検索
 - 要アプリケーションID
 - 回数制限あり
- LODチャレンジ

- CiNii認証の導入
 - アクセス元によって各種情報を出し分ける
 - 所蔵一覧の並べ替え
 - 各種電子リソースへのリンク
- 名寄せ
 - CiNii Articles書誌・著者との同一化
 - 外部の書誌・著者との相互リンク
 - Linked Data
- Articles & Books (+α)
 - 2つの文化圏をつなぐ
 - 統合検索とは異なる連携の形

まとめ

- 進化するプラットフォームとしてのCiNii
 - 大学図書館の情報環境は変わる・変えられる
 - フィードバックの重要性（随時受付中）
- 学術情報サービスをウェブらしく
 - コンテンツは唯一無二、評価されないはずはない
 - ウェブの常識と乖離すると評価の対象から外れる
 - コンピュータから・ユーザから
 - ウェブらしさを形成するもの
 - デザイン・インターフェイス・URI・メタデータ...
- 常に変化、より高度に
 - 「変化にいつでも対応できること」がウェブらしさの本質？
- **みんなで作っていきましょう！**